

- ※ 解答の順番を問わない。ただし、解いた問題の番号を解答用紙に明記すること。
- ※ 問題を解く際、重力加速度が必要な場合その大きさを g とする。
- ※ 問題で指定のないかぎり、摩擦および空気抵抗を無視し、計算過程を示すこと。

1. 物体の運動に関して以下の問いに答えよ。なお、計算過程を示さなくてよい。

- (1) 地面と水平方向に速さ v で地上からロケットを発射するとき、落下しないための v の条件を求めよ。ただし、地球の半径を R とし、地球の自転や公転の影響を考慮しないものとする。
- (2) 角度 θ の斜面を物体が速度 v_0 でのはじめ、斜面に沿って距離 s まっすぐに進み静止した。物体と斜面の間の動摩擦係数を μ' とするとき、 s について v_0, θ, μ', g を用いて表せ。

2. 曲線 $y = \frac{1}{l}(x^2 - 4lx + 4l^2)$ を $0 \leq x \leq 2l$ の区間で x 軸回りに回転させて描く物体に関して、重心の x 座標 x_g を求めよ。ただし、この物体の密度は一様であるものとする。

3. 図1に示すトラス構造に関して、大きさ W の力が鉛直に点 A に作用する。トラス構造材の質量を無視し、 AB, BC, CA の長さがすべて等しいものとする。このとき、部材 BC にかかる引張力の大きさを求めよ。

4. 図2のように長さ l 、質量 m の棒が角速度 ω_0 で回転し、回転支点から x_0 離れた静止している質量 m の物体と弾性衝突する。衝突後、物体は図の方向に速さ v_1 で進むものとする。このとき、以下の問いに答えよ。ただし、棒の重心回りの慣性モーメントを $\frac{ml^2}{12}$ 、棒の太さを無視し、重力の影響はないものとする。

- (1) v_1 について ω_0, l, x_0 を用いて表せ。
- (2) v_1 が最大になる x_0 について、 l を用いて表せ。

5. 図3のようにロープでつながった質量 m_1, m_2 の物体を半径 r 、慣性モーメント I の定滑車を介し設置する。図に示す方向に物体が運動するとき、質量 m_1 の物体に生じる加速度の大きさを求めよ。ただし、ロープの質量を無視し、ロープと滑車にすべりが生じないものとする。

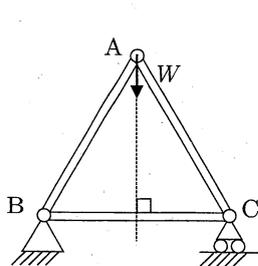


図 1

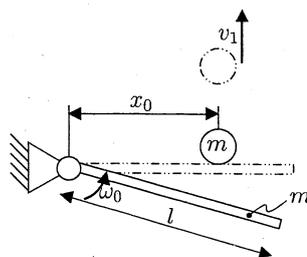


図 2

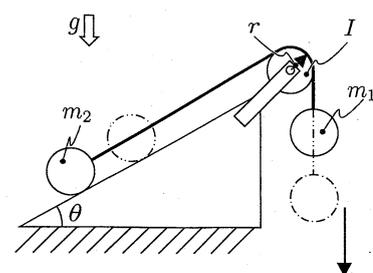


図 3